

一般財団法人 ササカワ・アフリカ財団

農業を通じた栄養改善

ササカワ・アフリカ財団は、2021-2025年、栄養に配慮した農業、環境再生型農業および市場志向型農業を組み合わせたアプローチにより、エチオピア・マリ・ナイジェリア・ウガンダの小規模農家 計22,000人の栄養改善に取り組みます（予算規模 \$480万ドル）

<目標・取組>

- ①農業普及員と小規模農家が、栄養価の高い作物（生物学的栄養強化作物・豆類・野菜など）の持続的な生産・加工・消費や、貯蔵農産物の品質管理に関する適切な研修を受ける。
- ②農業普及員と小規模農家が、市場志向型農業やアグリビジネスに関する適切な研修を受け、収入増加による栄養価の高い食品の購入を可能にする。
- ③農業普及員と小規模農家が、ジェンダーに配慮した栄養意識の向上を伴う食の多様性について適切な研修を受ける。

<達成状況（2023末時点）>

- ①～③の合計人数：132,026人

<新たな目標>

エチオピア・マリ・ナイジェリア・ウガンダの農業普及員と小規模農家累計150,000人の栄養改善に取り組みます。具体的には、

- ①農業普及員と小規模農家が、栄養価の高い作物（生物学的栄養強化作物・豆類・野菜など）の持続的な生産・加工・消費や、貯蔵農産物の品質管理に関する適切な研修を受ける。
- ②農業普及員と小規模農家が、市場志向型農業やアグリビジネスに関する適切な研修を受け、収入増加による栄養価の高い食品の購入を可能にする。
- ③農業普及員と小規模農家が、ジェンダーに配慮した栄養意識の向上を伴う食の多様性について適切な研修を受ける。

<目標に向けた今後の取組>

- ①②③のアクションに引き続き取り組みつつ、HDDSスコアのモニタリング等も行い確実な栄養改善を推進していく。

<関連情報>

<https://www.saa-safe.org/jpn/strategy/pa2.html>

(東京栄養サミットアクションプランにおいて賛同した項目)

☒ 食料システムの変革

☒ 個人の栄養に関する行動変容の促進

☐ 食関連産業のイノベーションの推進

☒ 途上国・新興国の栄養改善への支援

【企業・団体の概要】

1980年代初頭にエチオピアを襲った大飢饉をきっかけに、アフリカの人々自身による食料増産を目的に1986年に設立。以後35年に渡り、アフリカ諸国の小規模農家を対象に農業技術普及を行う。これまでアフリカ17か国で活動し、現在は4か国（エチオピア・マリ・ナイジェリア・ウガンダ）に事務所を置き、環境再生型農業・栄養に配慮した農業、市場志向型農業を3本柱に、生産・加工・貯蔵・マーケティングまでのバリューチェーンを包括する支援を実施している。